

大阪市立自然史博物館 講堂 A V 機器改修業務 仕様書

本仕様書は、地方独立行政法人大阪市博物館機構（以下、「機構」という。）が発注する大阪市立自然史博物館 講堂内の映像・音響系統改修について、必要な事項を定める。

1. 名称

大阪市立自然史博物館 講堂 A V 機器改修業務

2. 目的及び概要

現在使用している映像・音響設備については、映写機を使用していた時代に合わせた設備となっている。16mm映写機やVHSテープは既に使用不可の状態であり、コロナ禍において取り組んでいる配信設備には対応できていない。講堂を改修する（椅子やカーペットの更新）にあたって、映像・音響設備においても改修を行い、より利便性を高めた環境を整備することを企図するものである。

3. 業務内容

サブスクリーンやリモートカメラの増設、演台の更新、音響設備の改修、インターネット配信設備の追加等を行う。

4. 品名・数量

1) サブスクリーン新設①・・・前方舞台左の壁面

- ・映写対応型（無反射型）ホワイトボード 1式（マグネット使用可の事）
横 2.4～3.0m × 縦 1.2～1.5m 程度
- ・プロジェクター 1式
超短焦点壁掛け対応モデル（明るさ 3500lm 以上）

2) サブスクリーン新設②・・・前方舞台右の壁面

- ・映写対応型（無反射型）ホワイトボード 1式（マグネット使用可の事）
横 2.4～3.0m × 縦 1.2m 程度
- ・プロジェクター 1式
超短焦点壁掛け対応モデル（明るさ 3500lm 以上）

3) リモートカメラ新設・・・映写室の前面、ガラスの上部に天井吊り

- ・ズーム、パンなどを映写室内で操作可とする。
- ・解像度は 4K とする。

4) 演台更新

- ・HDMI 入力端子/VGA/電源コンセント/LAN コンセント 各 2 口を備えること。
- ・既設演台の撤去は含まない。

5) 入力端子追加

- ・舞台壁面右下（または床）：HDMI 入力端子/電源コンセント/LAN コンセント 各 1 口
※現状でマイクコンセントあり

- ・映写室外側壁面：HDMI 入力端子/電源コンセント/LAN コンセント 各 1 口

※現状で LAN コンセントあり（交換のこと）

6) 映写室への配信設備の追加

- ・全面的にデジタル化するのではなく、現状のアナログ音声系統（ワイヤレスマイク、ミキシングコンソール、スピーカー）は残す。
- ・リモートカメラ、演台入力（2 系統）、講堂内壁面 HDMI 入力（計 2 系統）、映写室内 BD プレーヤー（既設）、映写室内 HDMI 入力端子（2 系統、持ち込み PC 等想定）からの映像信号を集約し、HDMI マトリクススイッチャーを介してメインプロジェクター、サブプロジェクター①②、配信用スイッチャーへの送出を行う。
- ・講堂内マイク音声のミキシングコンソールからの出力を、配信用スイッチャーに送出する。
- ・HDMI マトリクススイッチャーに入力された信号の音声を、必要に応じて講堂内スピーカーに送出できるようにする。
- ・映像信号の入力は 4K 対応とし、配信は 2K とする。
- ・配信時の音声通話でハウリングが生じないようにするために、配信設備の機能に応じて必要であればハウリング防止装置等の付加を行うこと。
- ・配信用 PC は次の仕様と同等以上とする。OS：Windows 10、プロセッサ：インテル Core i7、メモリ：16GB、ストレージ：総容量 1 TB 以上、ディスプレイ：27 インチ解像度 4K でスピーカーとヘッドホン端子装備。
- ・映写室内 LCD（映像モニタ用 2 台）は 21 インチ解像度 2K（または同等以上）でスピーカーとヘッドホン端子装備とする。

7) インターネット通信

- ・講堂内 LAN コンセント、及び映写室内からインターネット接続できるようにする。回線は既存のインターネット回線への接続とする。

8) その他

- ・映写室内では、着座でオペレーションできるよう、コンソールデスクと椅子 2 脚を設置する（現状では立ったままで映写機操作を行う設計になっておりガラス窓の高さが高いため、座面の高い椅子を用いるなどの配慮をする）。
- （参考）ガラス面下辺高さ：床面から 120cm
- ・デスク天板高さ：100cm 程度
 - ・デスク奥行き：45～60cm 程度
 - ・デスク幅：150～180cm 程度
 - ・椅子座面：70～85cm を含む範囲で可変であること
- ・既設映写機の撤去は含まない。
 - ・電源の増設が必要な場合は、別途工事とする。
 - ・機器については、別紙①「導入機器に関する参考資料」を参照のこと。但し、機器選定のうえでの仕様の目安であり性能や耐久性において同等以上の製品を選定すること。
 - ・リスト掲載の参考機器間の適合性は要確認。

- ・導入が必須の部材・機器類・電線・ケーブル類がすべて掲載されているわけではない。また、機器の動作や設置においてオプションパーツ等が必要な場合があり得る（例えば設置金具、配線部材など）。
- ・最終的な選定機器については着手前に博物館へリストを提出して各々の性能や必要性を説明すること。
- ・全体の構成図については、別紙②「講堂平面図」及び別紙③「構成図素案」を参照のこと。

5. 搬入、据付、配線、調整等

- ・搬入・搬出に際しては、製品及び建築物・設備等を破損しないよう養生を施すこと。
- ・搬入・搬出は休館日に行うこと。 トラックヤードから搬入可能なサイズのものは開館中でも可能。但し、事前に相談のこと。
- ・スケジュールに関しては他工事との取り合いがある為、契約締結後すみやかに打合せを実施し、予定表を作成・提出の事。

6. 事前調査等

- ・契約締結後、設置前に現場確認を行うこと。不都合が生じた場合は、自然史博物館担当者と協議のうえ、その指示に従うこと。

7. 保守体制等

- ・保証期間は検査合格後、1年間とする。
- ・納入1年後に保守点検を無償で実施し、報告書を作成のうえ自然史博物館担当者へ提出すること。

8. 納入場所

大阪市立自然史博物館 本館講堂

大阪市東住吉区長居公園 1-23

詳細は別紙④・・・参照

9. 納入期限

令和4年1月31日（月）

10. 担当者

大阪市立自然史博物館 総務課

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

電話 06-6697-6221 FAX 06-6697-6225

11. その他

- ・ 詳細については現地説明会を行う。なお、コロナ禍における開催になるため、状況に応じた感染症対策を取りながらの実施となることをご承知おきください。（1社あたりの参加者の制限、マスク着用等）
- ・ 十分なコロナウイルス感染防止対策を講じて、作業を行うこと。原則として作業時間は 9:00～17:30 とし超過する場合は事前に総務課に相談の上許可を得ること。万一、作業員に発熱や体調不良等の症状が発現した場合は、適切に対処するとともに、速やかに担当者に連絡するなど、担当者の指示に従うこと。
- ・ 応札に当たっては本仕様書を十分検討し、疑義ある場合（同等品の可否を含む）は質問期間内に公募文に記載の方法によりよく質し、その内容を熟知の上応札するものとする。質問受付期間経過後の疑義については受付しない。契約後における仕様書の疑義は、双方協議の上、確認することとするが、軽微な疑義については、自然史博物館の解釈によるものとする。
- ・ 納品日、納品、設置時間については、担当者と十分調整の上、納入すること。
- ・ 不要な梱包材は持ち帰ること。